

光

自然、そして 宇宙へのロマン

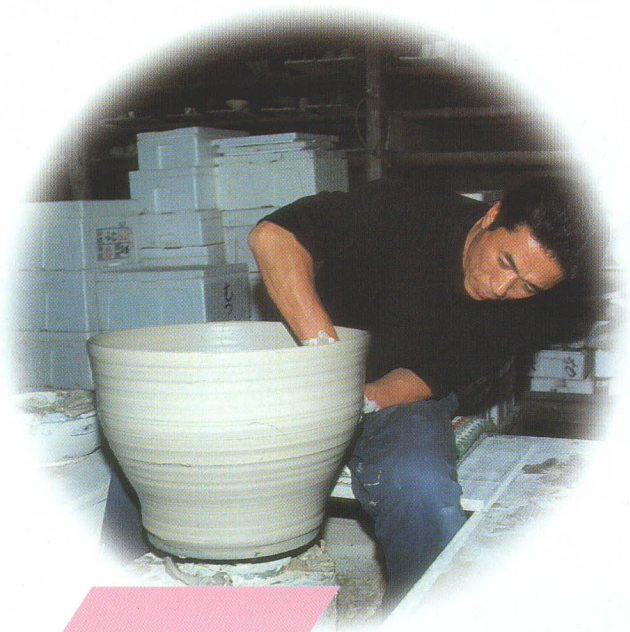
マリパークなみえ



平成6年に、ふるさと創生事業により、浪江町のシンボルのひとつでもある海を生きながら、余暇活動、人材育成、地域活性化の拠点としてオープンしました。

マリパークなみえは、白とマリブルーを基調とした研修室やレストランなどのある「コスモパレス」をはじめ、相双地方初の「プラネタリウム」や大堀相馬焼の陶芸などが体験できる「工作棟」があり、更に野外には6面のテニスコート(ナイター設備3面)や運動広場(全面芝張20,000㎡)、おもしろ自転車コーナー等があります。

また、コテージ(6棟)があるので自然と語りあうことができます。



大堀相馬焼は、約300年の伝統を誇る陶器で24の窯元があり、昭和52年に通商産業大臣指定伝統的工芸品に指定され、町を代表する特産品です。

大堀相馬焼の特徴は、素朴な味わいの中に親しみのこもった楽しさを感じられ、窯出しの際に陶器が外気に触れた瞬間から「ピーン、ピーン」という貫入音が鳴り響き、「青ひび」といわれるひび割れが、器全体に広がって地模様になります。

貫入音は、日常生活に潤いと安らぎを与えてくれる心地よい音として認められ、福島県「うつくしまの音30景」に認定されています。

また、5月のゴールデンウィークには「大せとまつり」が開催され、大堀民芸会館前に軒を連ねた窯元から、伝統の茶器や現代風の作品が並べられ、県内外の陶芸ファンや家族連れでにぎわいます。

三百年の伝統の 心を今に伝える

大堀相馬焼